

あいち多文化共生タウンミーティング2020 inながくて
開催報告

1 タウンミーティング概要

- (1) 日時
令和2年10月10日（土）午後2時から5時まで
- (2) 場所
長久手市役所西庁舎3階 研修室
- (3) 対象者
 - ・日本語教育に携わっている人
 - ・多文化共生に興味のある人
- (4) 参加者数
41人
- (5) テーマ
「地域および学校における日本語教育」
- (6) その他
今回は愛知県と共催で実施

2 プログラム

時間	内容
14:00～	開会 主催者あいさつ
14:05～	愛知県「日本語教育に関する愛知県の取組紹介」
14:10～	長久手市「長久手市多文化共生推進プラン策定について」
14:20～	基調講演 「地域および学校における日本語教育について」 講演者：小島 祥美氏 (東京外国語大学多言語多文化共生センター准教授)
15:30～	ワークショップ 基調講演で基調で取り上げられた課題別にグループに分かれ、 課題の掘り下げと、解決方法を話し合った。
16:50～	閉会

3 ワークショップの結果まとめ（抜粋）

課題1 「日本語教室での学習者への対応」

- ・継続的に教室に参加する学習者が少ない。
- ・学習者の興味や知りたいこと、学ぶ目的を把握し、ニーズに対応したり、楽しいと思える教室づくりを考える。
- ・ボランティアと学習者、双方の文化を学ぶ時間を設ける。

課題2 「学校での外国にルーツがある子どもやその保護者への支援」

- ・子どもに対して、学習への意欲が下がらないような学習支援の方法を検討する。
- ・保護者が学校のシステムや、学校からのお便り、連絡帳の内容を理解していないこともあるため、保護者へのサポートも必要。
- ・日本語学習のカリキュラムがない。
- ・学校、教育委員会、市役所と連携して、支援にあたる必要がある。

課題3 「地域と外国人とのつながりづくり」

- ・地域と交流する機会が少ない。
- ・やさしい日本語を使って、コミュニケーションや情報提供を行う。
- ・外国人が情報を得られやすい、情報提供の方法を考える。
- ・外国人市民が参加しやすく、地域の人とつながれるような場を設ける。
- ・外国人市民の活躍の場を作る。（例：語学講座などの講師になって活躍してもらう。）
- ・外国人が困りごとを気軽に相談できる場所が必要。

課題4 「外国人やその子どもを支援する人へのサポート」

- ・支援者側の活動拠点や、活動資金、人材確保が困難。
- ・支援者が必要な知識やスキル向上のための機会を提供する。
- ・現状あるものの活用や、行政、団体、市民の役割を明確にすると、支援者が動きやすい。

4 当日の様子



基調講演の様子



ワークショップの様子



ワークショップの様子